# 令和８年度都民連役員研修（報告）

１　ねらい　　他道府県または都内の民児協を訪問し視察・交流を行い、地域特性に応じた実践的な活動や先駆的な行政施策・民間サービスの活用例などの取り組みについて学び、さらなる活動の推進を図るとともに、都民連役員間の情報交換と連携を深める。

２　日　程　　令和８年９月３日（木）～４日（金）

３　参加者　　１８名（正副会長５名、常務委員９名、監査役２名、事務局２名）

４　訪問先　　栃木県大田原市民生委員児童委員協議会連合会（以下、大田原市民児協）　他

５　行　程

| | |
|---|---|
| １日目 | 蜂巣小珈琲店（就業継続支援事業所）視察、大田原市民児協との交流 |
| ２日目 | 一般社団法人えんがお視察、那須塩原市図書館みるる視察 |

６　内　容

## （１） 交流会（大田原市民児協）

参加者：大田原市民児協役員１２名、市民児協事務局２名、市社協１名、実習生１名
プログラム：あいさつ・役員紹介／大田原市民児協の実践報告／情報交換／全体会

| | |
|---|---|
| 大田原市の概況 | 人口：66,618 人　高齢化率：32.9％<br>民生児童委員定数：147 人（内、主任児童委員 14 人） |

### ① 子ども・若者に向けた民生児童委員活動の普及・啓発活動について



▲地元中学生がデザインしたこども民生委員バッジ

住職を務める大田原市民児協 青龍寺弘範会長の湯津上地区では、平成３年から民児協の「てら子屋活動」を開始。自然豊かな土地であるにも関わらず、子どもたちが草花や鳥・虫などの身近な生き物に触れ学ぶ機会が少ないことから、自然をテーマに野外での体験的な学びを通して、子どもたちの豊かな感受性を育むことを中心に活動を展開。

さらに子どもだけでなく大人も一緒に楽しめるよう、麦畑でのコンサートや休耕田でのどろんこレースを企画するなど「地域おこし」にも寄与してきた。近年では、１泊２日のプチ修行塾として小学生の修行体験を行ったり、地元の小学校での課外授業にも協力したりしている。

そして昨年は、小中学生に「いずれ自分もなる高齢者のことを知ってほしい」「人はひとりでは生きられずいろいろな人に支えられていることを自覚し、同じ地域に住む方に寄り添ってほしい」との願いから「こども民生委員」をスタートした。小学校で民生児童委員の活動に関する授業を行い、小学生が書いた絵手紙を中学生が高齢者施設に届けて入所者と交流を図ったり、出し物を披露したりするなどの活動を行っている。



上記の他、市民児協事務局より、平成 29 年に実施された県、県社協、県民児協が主催し市民児協が協力して実施した高校生の民生児童委員体験（単年度事業）についてご報告いただいた。

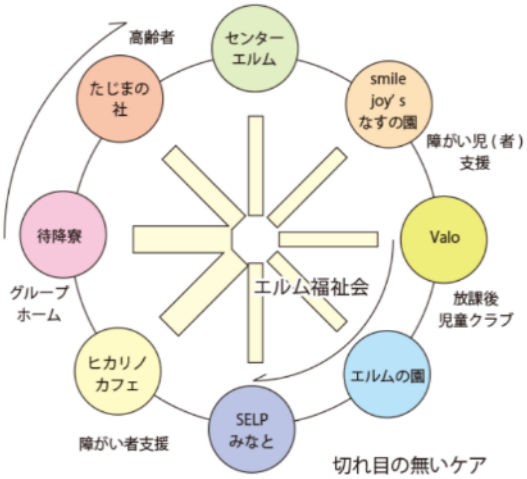
### ②　地域の支え合い・見守り活動の推進について

市社協より、地域で住民とともに取り組んでいる「ささえ愛おおたわら助け合い事業（生活支援体制整備事業）」について説明を受けた。

市内を１２地区に分け、地区を単位に支え合いの地域づくりをすするための「協議体」が設置され、地域の課題や情報を持ち寄り、住民同士で活発な話し合いやサロン活動が行われており、民生児童委員全員が隊員として協力している。

## （２）視察

### ①蜂巣小珈琲店　hikari no cafe’（ヒカリノカフェ）　〔栃木県大田原市〕




市内で複数事業を展開する社会福祉法人が運営する就労継続支援Ａ型事業所。

廃校になった小学校をリノベーションしたカフェで、ギャラリーを併設。ギャラリーでは、地域住民や芸術家の絵画・彫刻・写真等の作品を展示している。

大田原市役所他、市内３店舗で精神障がいや知的障がい、発達障がいのある方を雇用し、いきいきと働ける場を提供している。

なお、昼食後、館内および事業説明を受ける予定であったが、往路新幹線のトラブルによる大幅遅延により食事のみの利用となった。

**異なる機能を持つ施設が連携し切れ目のないケアを目指す**

社会福祉法人エルム福祉会は、「キリスト教精神にのっとり隣人愛をもって社会に参加する」との理念の下、栃木県北部地域に福祉施設を展開しています。1998年に「エルムの園」を開所以来、「福祉のイノベーション」を掲げ、施設の整備を進めてきました。

施設は「エルムの園」「SELPみなと」「hikari no café本店」「hikari no café蜂巣小珈琲店」などの障がい者支援施設をはじめ、障がい児（者）支援施設の「smile」「joy's」、障がい者グループホーム「待降寮」、高齢者施設「たじまの杜」など。利用者様が地域で生きていく環境づくりはできつつあると思っています。

統括施設長 CEO 川上　健次

出典：http://elm-fukushikai.com/




### ②　一般社団法人 えんがお〔栃木県大田原市〕

空き店舗や空き家を利用し、徒歩２分圏内に地域の高齢者やグループホームを利用する障がい者、フリースクールや学童保育の利用者など、さまざまな人が集まる地域サロン等を運営。

各所でのさまざまな活動を通じて、出会う人それぞれのニーズに合わせた「ごちゃまぜ」の地域コミュニティづくりを実践している。

当日は、法人代表の濱野将行氏による各拠点の紹介や活動報告の他、リストカットを繰り返すグループホームの利用者や不登校の生徒自身が、自身の生い立ちや思いを語ってくれた。




「えんがお」令和６年度事業報告より





## ③ 那須塩原市図書館みるる〔那須塩原市〕

令和２年９月にオープンした市立図書館（グッドデザイン賞受賞）。

木や植物を取り入れ、那須の森をイメージさせる地元建築家による設計で、カフェやアート展示スペース、テラスなどを備える。

黒磯駅前から駐輪場、駐車場に向かう通路として１階部分を通り抜けることができ、学生の待ち合わせや市民のたまり場としても活用される。図書館機能だけでなく、駅前広場と一体化したおしゃべりや飲食もできる街の交流拠点となっている。

